

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社エストアー 上場取引所 東
 コード番号 4304 URL https://Estore.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 森 淳 TEL 03-3595-1106
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,989	111.0	376	61.6	549	86.4	316	45.2
2020年3月期第2四半期	2,365	△1.0	232	△16.3	294	△19.3	217	△17.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 321百万円 (47.5%) 2020年3月期第2四半期 217百万円 (△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	66.22	55.04
2020年3月期第2四半期	45.60	37.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,516	1,929	25.7
2020年3月期	7,375	1,746	23.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,929百万円 2020年3月期 1,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	9,645	98.7	398	△16.6	459	△12.7	230	△37.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,161,298株	2020年3月期	5,161,298株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	387,634株	2020年3月期	387,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	4,773,690株	2020年3月期2Q	4,773,973株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、売上高 4,989,856千円（前年同期比 111.0%増）、営業利益 376,067千円（同 61.6%増）、経常利益 549,640千円（同 86.4%増）、親会社株主に帰属する四半期利益 316,133千円（同 45.2%増）となりました。売上高が2倍超へ増大した要因は、M&Aによる寄与もありますが、既存事業自体が二桁成長しているところが肝要です。それに伴って、営業利益も 61.6%の増加となりました。M&Aによる利益増も、のれん償却を吸収し順調です。また、通期計画に対する進捗は、売上高は51.7%とほぼ計画どおりに推移し、営業利益はすでに94.3%に達しています。

当社グループが対象としている国内B2C-EC市場は、引き続き高い成長率で推移しつつもEC化率はまだまだ低く、また、構造的な人口減・デフレに対峙する顧客企業のDX化の伸張は続くと思われ、今後も中長期的な成長市場として期待されています。特に、DX化の中心に据えられるのが、（安価大量と逆の位置にある）自社本店ECの構築および強化であり、この支援を事業領域の中心としている当社グループの業績の伸長は、これらの市場ニーズを的確に捉えていることがベースとなっております。

更に当会計期間においては、コロナ禍に起因した特別な社会ニーズの変化も捉えることができ、その影響は全体としてはプラスに働きました。セクター別には、顧客企業の業績へのマイナス影響により、販促事業では若干の逆風とはなりましたが、システム事業および決済事業では、企業のDX投資と生活者の巣ごもり消費の高まりを捉え、大きく追い風となり、これを十分にカバーしています。

以下、主要な3つのセクターの業績になります。

<システム事業セクター>

システム事業売上高は、1,889,415千円（同 101.5%増）と2倍の成長となりました。M&Aによる寄与もありますが、顧客のDX投資の高まりを的確に捉えることにより、既存事業も着実に伸長しています。

システム事業はSaaS型ECシステム（サービス名：ショッピングサブ）とPaaS型ECシステム（サービス名：セルサイドソリューション）が対象になります。顧客のEC事業の初期構築支援に加え、以降はそれらの継続利用・継続保守や追加開発で、高いストック性のあるセクターとなり、EC市場の伸長に伴う増大も期待されますが、それ以前に安定した収益基盤となっております。

また、今回より決済代行サービスはシステム事業より切り出し、決済事業として記載しています。

<決済事業セクター>

決済事業売上高は、1,169,989千円（同 38.4%増）となりました。社会現象である「巣ごもり消費」の増大を的確に捉え、顧客企業の売上を大幅に伸長させることができた結果です。

決済事業の収益構造は、顧客企業のEC売上げに連動しており、EC市場の伸長にリニアに成長が伴う構造となっております。

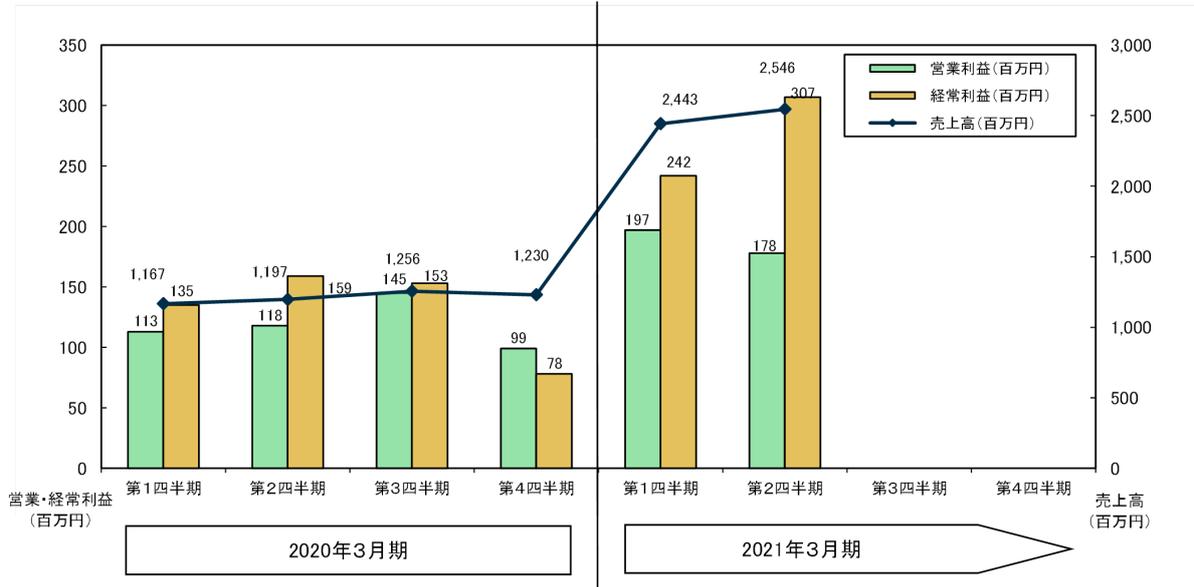
<販促事業セクター>

販促事業売上高は、1,914,507千円（同 228.6%増）と3倍超の成長となりました。コロナ禍による逆風の中でM&Aによる寄与もあり、計画に対しては少し弱含みながら概ね順調な結果となっております。

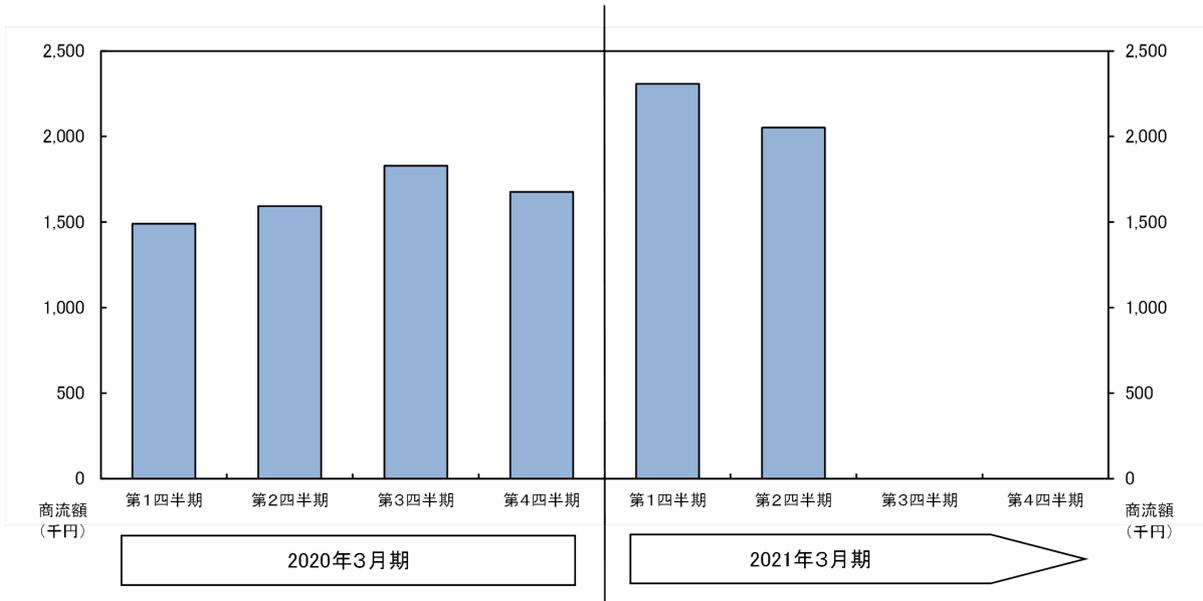
販促事業は、サイトへの集客やサイト制作を支援しており、当事業自体がリカール性の高い事業となっている他に、これにより顧客企業のEC売上げが増大することに直結しており、決済事業への収益にも寄与することになります。

第3四半期から第4四半期に向けては、顧客企業のDX投資は更に高まる様相を見せ、また巣ごもりがEC消費の習慣を定着させており、引き続き追い風になると見えています。

(売上・利益の四半期推移)



(1店舗あたりの商流額)



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、7,516,717千円となりました。
当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で140,888千円増加し、7,516,717千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加76,464千円、関係会社株式の増加103,720千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で41,989千円減少し、5,587,228千円となりました。これは主に、預り金の増加152,673千円、買掛金の減少183,139千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で182,878千円増加し、1,929,488千円となりました。これは、2020年3月期の配当金支払138,437千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益として、316,133千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は25.7%（前連結会計年度末比2.0ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末比で75,565千円増加し、3,364,314千円(前連結会計年度末比2.3%増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、342,623千円(前年同四半期は92,792千円の増加)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益419,017千円、預り金の増加152,673千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、29,779千円(前年同四半期は23,218千円の減少)となりました。主な増加要因は、敷金の回収による収入56,969千円であり、主な減少要因は、敷金の差入による支出97,984千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、237,051千円(前年同四半期は138,073千円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額138,320千円、1年内返済予定の長期借入金の返済による支出65,004千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、2020年8月12日の「会計処理の変更等に伴う連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,288,953	3,365,417
売掛金	1,287,962	1,159,375
仕掛品	110,256	100,042
貯蔵品	15,706	15,992
暗号資産	11,015	18,778
その他	257,506	372,320
貸倒引当金	△1,175	△1,135
流動資産合計	4,970,225	5,030,791
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	106,552	105,660
その他（純額）	156,123	156,798
有形固定資産合計	262,675	262,459
無形固定資産		
のれん	609,793	581,398
顧客関連資産	557,000	529,150
その他	130,903	124,229
無形固定資産合計	1,297,697	1,234,777
投資その他の資産		
投資有価証券	198,690	200,608
関係会社株式	202,363	306,083
敷金保証金	374,615	415,630
その他	85,079	81,884
貸倒引当金	△15,518	△15,518
投資その他の資産合計	845,230	988,689
固定資産合計	2,405,603	2,485,926
資産合計	7,375,828	7,516,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,016,490	833,351
1年内返済予定の長期借入金	130,008	130,008
未払金	110,775	136,640
未払法人税等	148,013	164,012
預り金	1,855,400	2,008,073
資産除去債務	—	79,890
その他	277,641	253,917
流動負債合計	3,538,329	3,605,894
固定負債		
新株予約権付社債	999,600	999,600
資産除去債務	57,284	56,816
長期借入金	862,848	797,844
その他	171,156	127,073
固定負債合計	2,090,888	1,981,334
負債合計	5,629,218	5,587,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
利益剰余金	1,548,009	1,725,705
自己株式	△324,444	△324,519
株主資本合計	1,746,893	1,924,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283	4,974
その他の包括利益累計額合計	△283	4,974
純資産合計	1,746,610	1,929,488
負債純資産合計	7,375,828	7,516,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,365,255	4,989,856
売上原価	1,625,376	3,826,103
売上総利益	739,879	1,163,753
販売費及び一般管理費	507,235	787,685
営業利益	232,643	376,067
営業外収益		
受取利息	3	5
投資有価証券売却益	—	62,723
持分法による投資利益	54,793	108,924
暗号資産評価益	7,190	7,783
雑収入	534	1,245
営業外収益合計	62,520	180,682
営業外費用		
支払利息	—	3,709
リース解約損	—	3,069
為替差損	146	228
雑損失	113	102
営業外費用合計	260	7,109
経常利益	294,904	549,640
特別損失		
減損損失	—	130,622
特別損失合計	—	130,622
税金等調整前四半期純利益	294,904	419,017
法人税、住民税及び事業税	78,282	147,853
法人税等調整額	△1,049	△44,969
法人税等合計	77,233	102,884
四半期純利益	217,671	316,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,671	316,133

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	217,671	316,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	5,257
その他の包括利益合計	252	5,257
四半期包括利益	217,924	321,391
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,924	321,391
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	294,904	419,017
のれん償却額	1,097	44,509
減価償却費	29,144	99,203
減損損失	—	130,622
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△102	△39
受取利息及び受取配当金	△3	△5
支払利息	—	3,709
為替差損益 (△は益)	146	228
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△62,723
未払配当金除斥益	△348	—
暗号資産評価損益 (△は益)	△7,190	△7,783
持分法による投資損益 (△は益)	△54,793	△108,924
売上債権の増減額 (△は増加)	4,475	138,929
仕入債務の増減額 (△は減少)	613	△187,948
未払金の増減額 (△は減少)	△13,280	8,108
預り金の増減額 (△は減少)	△86,185	152,673
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,937	△207,383
その他の負債の増減額 (△は減少)	△12,706	52,246
小計	159,711	474,439
利息及び配当金の受取額	3	5,209
利息の支払額	—	△3,709
法人税等の支払額	△66,921	△133,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,792	342,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,244	△81,118
無形固定資産の取得による支出	△973	△37,660
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	68,384
預け金の払戻による収入	—	61,630
敷金の差入による支出	—	△97,984
敷金の回収による収入	—	56,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,218	△29,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△30,000
1年内返済予定の長期借入金の返済による支出	—	△65,004
リース債務の返済による支出	△576	△2,753
自己株式の取得による支出	△144	△75
配当金の支払額	△137,662	△138,320
その他	310	△898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,073	△237,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	△228
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68,644	75,565
現金及び現金同等物の期首残高	2,976,494	3,288,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,907,849	3,364,314

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しています。